



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年8月5日

上場会社名 味の素株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2802 URL <https://www.ajinomoto.co.jp/company/>  
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 藤江 太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 執行理事グローバル財務部長 (氏名) 渡辺 一臣 TEL 03-5250-8111  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		事業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	365,508	7.7	43,073	0.5	39,825	0.6	26,778	△9.6	23,967	△12.0	71,940	△18.1
2024年3月期第1四半期	339,521	5.6	42,852	5.7	39,596	3.8	29,632	1.3	27,220	△1.9	87,818	6.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	46.98	46.98
2024年3月期第1四半期	51.77	51.75

(注) 当社グループは、IFRSの適用にあたり、投資家、取締役会及び経営会議が各事業の恒常的な業績や将来の見通しを把握すること、取締役会及び経営会議が継続的に事業ポートフォリオを評価することを目的として、「事業利益」という段階利益を導入しております。当該「事業利益」は、「売上高」から「売上原価」、「販売費」、「研究開発費」及び「一般管理費」を控除し、「持分法による損益」を加えたものであり、「その他の営業収益」及び「その他の営業費用」を含まない段階利益です。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,835,569	890,912	826,947	45.1
2024年3月期	1,774,495	884,064	814,690	45.9

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期第1四半期	38,111	△14,633	△8,818	191,267
2024年3月期第1四半期	16,645	△19,308	57,184	192,043

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	37.00	—	37.00	74.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		事業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,527,000	6.1	158,000	7.0	95,000	9.0	188.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	515,731,154株	2024年3月期	521,430,854株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	9,128,959株	2024年3月期	8,864,260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	510,139,886株	2024年3月期1Q	525,780,448株

（注）期末自己株式数には、当社の役員等を対象とする中期業績連動型株式報酬制度の導入により採用した役員報酬BIP信託が保有する当社株式（2025年3月期1Q 405,600株、2024年3月期 409,900株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P2、「1. 経営成績等の概況（1）当四半期の経営成績の概況」をご参照ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は2024年8月5日（月）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## 添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 資本の財源及び資金の流動性についての分析	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	15

## 1. 経営成績等の概況

当社グループは、IFRSの適用に当たり、投資家、取締役会及び経営会議が各事業の恒常的な業績や将来の見通しを把握すること、取締役会及び経営会議が継続的に事業ポートフォリオを評価することを目的として、「事業利益」という段階利益を導入しております。当該「事業利益」は、「売上高」から「売上原価」、「販売費」、「研究開発費」及び「一般管理費」を控除し、「持分法による損益」を加えたものであり、「その他の営業収益」及び「その他の営業費用」を含まない段階利益です。

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の売上高は、換算為替の影響に加え、調味料・食品セグメント、冷凍食品セグメント及びヘルスケア等セグメント、いずれも増収となり、前年同期を259億円上回る3,655億円（前年同期比107.7%）となりました。事業利益は、調味料・食品セグメント及び冷凍食品セグメントにおける戦略的費用の増加等があったものの、ヘルスケア等セグメントの増収効果により、前年同期を2億円上回る430億円（前年同期比100.5%）となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、一時的な税金費用の増加等により、前年同期を32億円下回る239億円（前年同期比88.0%）となりました。なお、2024年5月9日に公表しました業績予想の修正は行っておりません。

## セグメント別の概況

セグメント別の業績は次のとおりです。

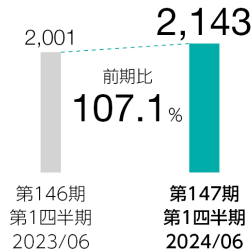
対前年実績	売上高（億円）			事業利益（億円）		
	第147期 第1四半期	前年同期増減	前年同期比	第147期 第1四半期	前年同期増減	前年同期比
調味料・食品	2,143	142	107.1%	304	△4	98.4%
冷凍食品	701	63	109.9%	28	△11	71.8%
ヘルスケア等	781	59	108.3%	80	11	116.3%
その他	28	△5	82.5%	17	7	170.2%
合計	3,655	259	107.7%	430	2	100.5%

業績予想に対する進捗	売上高（億円）			事業利益（億円）		
	第147期 第1四半期	通期予想	進捗率	第147期 第1四半期	通期予想	進捗率
調味料・食品	2,143	8,899	24.1%	304	1,117	27.2%
冷凍食品	701	2,927	24.0%	28	115	24.9%
ヘルスケア等	781	3,258	24.0%	80	302	26.6%
その他	28	184	15.2%	17	44	38.6%
合計	3,655	15,270	23.9%	430	1,580	27.3%

## ① 調味料・食品セグメント

調味料・食品セグメントの売上高は、販売増や換算為替の影響等により、前年同期を142億円上回る2,143億円（前年同期比107.1%）となりました。事業利益は、増収効果等があったものの、戦略的費用の増加等により、前年同期を4億円下回る304億円（前年同期比98.4%）となりました。

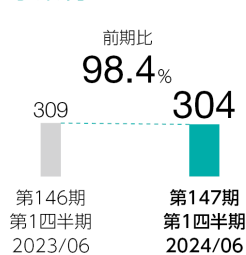
## 売上高(億円)



## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・調味料は、全体で増収。  
日本は、販売増により増収。  
海外は、販売増や為替影響により増収。
- ・栄養・加工食品は、全体で増収。  
日本は、主に単価上昇効果により増収。  
海外は、為替影響や単価上昇効果により増収。
- ・ソリューション&イングリディエントは、為替影響や、業務用製品の販売増等により増収。

## 事業利益(億円)



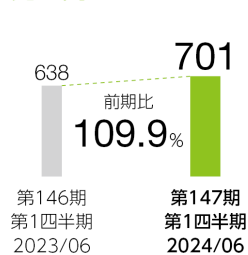
## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・調味料は、全体で増益。  
日本は増収も、戦略的費用の増加等により、減益。  
海外は、増収効果等により増益。
- ・栄養・加工食品は、全体で大幅増益。  
日本は増収も、原材料等のコスト増影響等により減益。  
海外は、増収効果等により大幅増益。
- ・ソリューション&イングリディエントは、増収も、加工用うま味調味料の減益等により、全体で減益。

## ② 冷凍食品セグメント

冷凍食品セグメントの売上高は、主に海外における換算為替の影響や販売数量の増加等により、前年同期を63億円上回る701億円（前年同期比109.9%）となりました。事業利益は、増収効果等があったものの、戦略的費用の増加や原材料等のコスト増影響等により、前年同期を11億円下回る28億円（前年同期比71.8%）となりました。

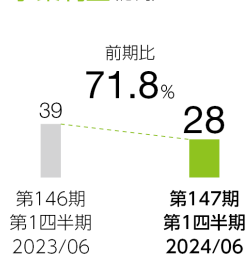
## 売上高(億円)



## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・全体で増収。  
日本は、単価上昇効果あるも、数量減により前年並み。  
海外は、為替影響や数量増により大幅増収。

## 事業利益(億円)



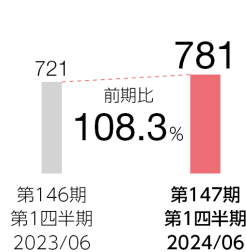
## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・全体で大幅減益。  
日本は原材料等のコスト増影響等により減益。  
海外は増収も、戦略的費用の増加等により概ね前年並み。

## ③ ヘルスケア等セグメント

ヘルスケア等セグメントの売上高は、バイオフィーマサービス&イングリディエンツが減収となったものの、電子材料の販売好調の影響等により、前年同期を59億円上回る781億円（前年同期比108.3%）となりました。事業利益は、バイオフィーマサービス&イングリディエンツが減益となったものの、電子材料の増収効果等により、前年同期を11億円上回る80億円（前年同期比116.3%）となりました。

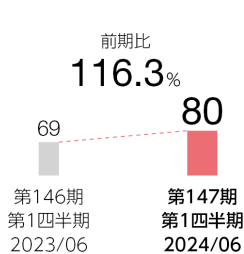
## 売上高(億円)



## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・バイオフィーマサービス&イングリディエンツは、為替影響あるも、主にバイオフィーマサービス（CDMO）の販売減により、全体で減収。
- ・ファンクショナルマテリアルズ（電子材料等）は、電子材料の販売好調により大幅増収。
- ・その他は、全体で増収。

## 事業利益(億円)



## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・バイオフィーマサービス&イングリディエンツは、医薬用・食品用アミノ酸は増益も、バイオフィーマサービス（CDMO）が大幅減益となり全体で大幅減益。
- ・ファンクショナルマテリアルズ（電子材料等）は、大幅増収に伴い大幅増益。
- ・その他は、増収に伴い大幅増益。

## ④ その他

その他の事業の売上高は、前年同期を5億円下回る28億円（前年同期比82.5%）となり、事業利益は前年同期を7億円上回る17億円（前年同期比170.2%）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の1兆7,744億円に対して610億円増加し、1兆8,355億円となりました。これは主として、換算為替の影響による各資産残高の増加に加え、現金及び現金同等物や棚卸資産の増加によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末の8,904億円に対して542億円増加し、9,446億円となりました。これは主として、有利子負債の増加によるものです。有利子負債残高は、コマーシャル・ペーパーの発行等により、前連結会計年度末に対して600億円増加し、5,517億円となりました。

資本合計は、自己株式の取得により減少したものの、主に円安の進行に伴う在外営業活動体の換算差額の増加や、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に対して68億円増加しました。資本合計から非支配持分を引いた親会社の所有者に帰属する持分は、8,269億円となり、親会社所有者帰属持分比率は45.1%となりました。

## (3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、381億円の収入（前年同期は166億円の収入）となりました。税引前四半期利益が398億円であり、減価償却費及び償却費214億円があったものの、棚卸資産の増加158億円や法人所得税の支払額47億円があったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、146億円の支出（前年同期は193億円の支出）となりました。有形固定資産及び無形資産の取得による支出229億円、金融資産の売却による収入77億円があったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、88億円の支出（前年同期は571億円の収入）となりました。コマーシャル・ペーパーの発行残高の増加による収入570億円があったものの、自己株式の取得による支出344億円、配当金の支払額185億円及び非支配持分への配当金の支払額112億円があったこと等によるものです。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、1,912億円となりました。

(4) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

① 資金の流動性について

当第1四半期連結累計期間は短期流動性に関し、コミットメントライン、当座貸越枠、コマーシャル・ペーパー発行枠等の調達手段によって十分な手元流動性を確保しております。

また、十分な手元流動性比率の維持に加え、主要取引銀行と締結しているコミットメントラインにより資金の安全性を確保しており、当第1四半期連結会計期間末のコミットメントラインの未使用額は円貨で1,700億円、外貨で100百万米ドルです。さらに、資金流動性リスク等が発生する可能性のある海外連結子会社に対して、当社が緊急貸付枠を設定し、一時的な資金繰りの支援体制を整備しております。

② 資金の調達

当第1四半期連結累計期間の資金調達は、調達コストとリスク分散の観点による直接金融と間接金融のバランス及び長期と短期の資金調達のバランスを勘案し、事業資金及びForge Biologics Holdings, LLCの全持分取得に係る短期借入金の長期化に関し、金融機関からの借入、コマーシャル・ペーパー発行等による資金調達活動を行いました。

③ 資金の使途

当第1四半期連結累計期間の資金の使途は、主として事業資金及びForge Biologics Holdings, LLCの全持分取得に係る短期借入金の長期化であります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	171,537	191,267
売上債権及びその他の債権	185,564	181,008
その他の金融資産	22,650	18,627
棚卸資産	287,122	311,704
未収法人所得税	22,505	21,700
その他の流動資産	20,252	24,362
小計	709,632	748,670
売却目的保有に分類される処分グループに係る資産	—	—
流動資産合計	709,632	748,670
非流動資産		
有形固定資産	587,407	597,757
無形資産	97,810	99,347
のれん	146,003	153,212
持分法で会計処理される投資	128,538	132,127
長期金融資産	54,097	53,282
繰延税金資産	8,565	8,232
その他の非流動資産	42,439	42,938
非流動資産合計	1,064,863	1,086,898
資産合計	1,774,495	1,835,569



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	231,979	221,335
短期借入金	97,553	9,049
コマーシャル・ペーパー	53,000	110,000
1年内返済予定の長期借入金	37,717	36,312
その他の金融負債	8,781	10,785
短期従業員給付	45,916	40,739
引当金	4,440	1,929
未払法人所得税	7,031	13,700
その他の流動負債	15,045	19,919
小計	501,465	463,771
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債	—	—
流動負債合計	501,465	463,771
非流動負債		
社債	149,626	149,641
長期借入金	104,598	196,401
その他の金融負債	54,544	55,051
長期従業員給付	28,865	29,208
引当金	3,905	4,075
繰延税金負債	44,472	42,991
その他の非流動負債	2,951	3,515
非流動負債合計	388,965	480,885
負債合計	890,431	944,657
資本		
資本金	79,863	79,863
資本剰余金	—	△32,263
自己株式	△49,164	△51,258
利益剰余金	657,782	663,905
その他の資本の構成要素	126,208	166,700
売却目的保有に分類される処分グループに係るその他の資本の構成要素	—	—
親会社の所有者に帰属する持分	814,690	826,947
非支配持分	69,373	63,964
資本合計	884,064	890,912
負債及び資本合計	1,774,495	1,835,569

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)
売上高	339,521	365,508
売上原価	△215,434	△232,108
売上総利益	124,087	133,400
持分法による損益	747	2,319
販売費	△43,522	△48,468
研究開発費	△7,274	△7,537
一般管理費	△31,186	△36,639
事業利益	42,852	43,073
その他の営業収益	1,277	1,418
その他の営業費用	△3,535	△3,685
営業利益	40,593	40,805
金融収益	2,294	2,564
金融費用	△3,291	△3,545
税引前四半期利益	39,596	39,825
法人所得税	△9,964	△13,047
四半期利益	29,632	26,778
四半期利益の帰属:		
親会社の所有者	27,220	23,967
非支配持分	2,412	2,810
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	51.77	46.98
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	51.75	46.98

要約四半期連結包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)
四半期利益	29,632	26,778
その他の包括利益 (税効果後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融 資産の公正価値の純変動	3,185	284
確定給付制度の再測定	4,425	655
持分法適用会社における持分相当額	233	111
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△23	267
ヘッジコスト剰余金	△162	11
在外営業活動体の換算差額	50,994	44,664
持分法適用会社における持分相当額	△467	△833
その他の包括利益 (税効果後)	58,185	45,161
四半期包括利益	87,818	71,940
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	82,140	65,691
非支配持分	5,678	6,249

## (3) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	39,596	39,825
減価償却費及び償却費	18,497	21,437
減損損失及び減損損失戻入益	99	349
従業員給付の増減額	△3,750	△5,562
引当金の増減額	△6,032	△2,430
受取利息及び受取配当金	△1,793	△2,067
支払利息	1,057	1,514
持分法による損益	△747	△2,319
有形固定資産及び無形資産の除売却損益	328	400
売上債権及びその他の債権の増減額	3,293	8,755
仕入債務及びその他の債務の増減額	△8,162	△5,452
棚卸資産の増減額	△15,690	△15,847
その他の資産及び負債の増減額	△3,241	△395
その他	4,083	2,570
小計	27,539	40,776
利息及び配当金の受取額	2,460	3,125
利息の支払額	△667	△1,027
法人所得税の支払額	△12,687	△4,763
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,645	38,111
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△20,810	△22,964
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	400	1,252
金融資産の取得による支出	△497	△413
金融資産の売却による収入	1,996	7,790
その他	△398	△298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,308	△14,633

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額	△2,672	△88,803
コマーシャル・ペーパーの増減額	98,000	57,000
長期借入れによる収入	0	97,006
長期借入金の返済による支出	△5,744	△7,244
社債の発行による収入	29,876	—
配当金の支払額	△18,697	△18,519
非支配持分への配当金の支払額	△1,339	△11,292
自己株式の取得による支出	△40,124	△34,497
リース負債の返済による支出	△2,114	△2,485
その他	0	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,184	△8,818
現金及び現金同等物の換算差額	4,744	5,071
現金及び現金同等物の増減額	59,265	19,729
現金及び現金同等物の期首残高	132,777	171,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	192,043	191,267

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主として製品別のセグメントから構成されており、「調味料・食品」、「冷凍食品」、「ヘルスケア等」の3つを報告セグメントとしております。

いずれの報告セグメントも、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

各報告セグメントに属する製品の種類は、以下のとおりです。

報告セグメント	製品区分	主要製品
調味料・食品	調味料	うま味調味料「味の素®」、「ほんだし®」、「Cook Do®」、「味の素KKコンソメ」、「ピュアセレクト® マヨネーズ」、「Ros Dee®」（風味調味料）、「Masako®」（風味調味料）、「Aji-ngon®」（風味調味料）、「Sazon®」（風味調味料）、「SAJIKU®」（メニュー用調味料）、「CRISPY FRY®」（メニュー用調味料）等
	栄養・加工食品	「クノール® カップスープ」、「YumYum®」（即席麺）、「Birdy®」（コーヒー飲料）、「Birdy®3in1」（粉末飲料）、「Blendy®」ブランド品（「CAFÉ LATORY®」、スティックコーヒー等）、「MAXIM®」ブランド品、「ちょっと贅沢な珈琲店®」ブランド品、ギフト各種、オフィス飲料（カップ自販機、給茶機）等
	ソリューション&イングリディエンツ	国内外食用・食品加工用うま味調味料「味の素®」、外食用調味料・加工食品、加工用調味料（天然系調味料、酵素製剤「アクティブ®」）、弁当・惣菜、ベーカリー製品、核酸系調味料、甘味料（加工用アスパルテーム等）等
冷凍食品	冷凍食品	餃子類（「ギョーザ」、「POT STICKERS」等）、米飯類（「ザ★®チャーハン」、「CHICKEN FRIED RICE」等）、麺類（「YAKISOBA」、「RAMEN」等）、スイーツ類（業務用ケーキ、「MACARON」等）、焼売類（「ザ★®シュウマイ」、「エビシューマイ」等）、鶏肉加工品類（「やわらか若鶏から揚げ」、「ザ★®から揚げ」等）等
ヘルスケア等	医薬用・食品用アミノ酸	医薬用・食品用アミノ酸、培地
	バイオフィーマサービス (CDMO)	医薬品中間体及び原薬、無菌製剤 (Fill&Finish) 等の受託開発製造サービス
	ファンクショナルマテリアルズ (電子材料等)	電子材料 (半導体パッケージ用層間絶縁材料「味の素ビルドアップフィルム® (ABF)」等)、機能性材料 (接着剤「プレーンセット®」、磁性材料「AFTINNOVA® Magnetic Film」等)、活性炭、離型紙等
	その他	飼料用アミノ酸、スポーツニュートリション (サプリメント (「アミノバイタル®」等))、パーソナルケア素材 (アミノ酸系洗浄剤「アミソフト®」、アミノ酸系メーカーアップ用油剤「エルデュウ®」・粉剤「アミホープ®」等)、メディカルフード、農業サービス等

## (2) セグメント売上高及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上高及び業績は以下のとおりです。

なお、セグメント間の内部売上高は、主に第三者間取引価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額
	調味料・ 食品	冷凍食品	ヘルス ケア等				
売上高							
外部顧客に対する売上高	200,108	63,833	72,171	3,407	339,521	—	339,521
セグメント間の内部売上高	1,779	19	776	5,503	8,078	△8,078	—
計	201,887	63,853	72,948	8,911	347,600	△8,078	339,521
持分法による損益	△394	—	△15	1,157	747	—	747
セグメント利益又は損失 (事業利益又は事業損失)	30,921	3,999	6,911	1,019	42,852	—	42,852
						その他の営業収益	1,277
						その他の営業費用	△3,535
						営業利益	40,593
						金融収益	2,294
						金融費用	△3,291
						税引前四半期利益	39,596

(注) 1. 「その他」には、提携事業及びその他サービス事業が含まれております。

(注) 2. 各報告セグメントに帰属しない全社共通費は、合理的な基準に基づき各報告セグメントに配分しております。  
全社共通費は、主に親会社の管理部門にかかる費用です。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額
	調味料・ 食品	冷凍食品	ヘルス ケア等				
売上高							
外部顧客に対する売上高	214,383	70,164	78,149	2,811	365,508	—	365,508
セグメント間の内部売上高	1,886	89	1,294	9,054	12,324	△12,324	—
計	216,270	70,254	79,443	11,865	377,833	△12,324	365,508
持分法による損益	283	—	36	1,998	2,319	—	2,319
セグメント利益又は損失 (事業利益又は事業損失)	30,428	2,871	8,037	1,735	43,073	—	43,073
						その他の営業収益	1,418
						その他の営業費用	△3,685
						営業利益	40,805
						金融収益	2,564
						金融費用	△3,545
						税引前四半期利益	39,825

(注) 1. 「その他」には、提携事業及びその他サービス事業が含まれております。

(注) 2. 各報告セグメントに帰属しない全社共通費は、合理的な基準に基づき各報告セグメントに配分しております。  
全社共通費は、主に親会社の管理部門にかかる費用です。



（重要な後発事象）

該当事項はありません。